

【水の里の旅コンテスト2015 応募企画】

阪南大学 国際観光学部 小林ゼミ

親子で遊んで学ぼう！上から下までギュギュっと広島
～水ってどこからきているの？～



観光地域名：広島県 広島市・安芸太田町

【日程】	1泊2日		
【実施時期】	春		
【催行人員】	名（最少催行人員：3名）	【お勧めする旅行者層】	都会に住む子供がいる家族
【旅行代金】	22,250円 (大人1名)	【内 訳】	
		レンタカー代：11,340円 / 高速料金：1,400円 / ペンション宿泊料：7,500円 / 電車運賃：990円 / 乗船料：360円 / バス運賃：300円 / 水族館入館料：1400円（子ども700円） / 厳島神社拝観料：300円	
【企画趣旨】			
<p>水というテーマから、私たちは、水の始まりはどこだろうと考えました。 そこで注目したのがダムです。ダムは、治水、利水などの様々な役割を担っています。 治水された水が、上流から下流に流れるように、このツアーでは、<u>上流である山から下流にある街へ行くことにより、</u> <u>水が私たちのもとに届くまでの仕組みを知ることが出来ます。</u> また、<u>ダムの存在の大切さを認識することで、より水の恵み、魅力を感じることが出来ます。</u> そして、ターゲットを家族にする事で、普段都会に住む子供に、自然のありがたみや自然で遊ぶ楽しさを知ってもらうきっかけになれば と考えました。</p> <p>また、ダムのある安芸太田町は、人口減少や高齢化の進行により、地域の活力が停滞している現状にあります。 このような中、安芸太田町が推進する理念「三方よし」は、観光客（買い手）と地域側（売り手）だけでなく、社会全体の幸福にもつな がるべきであるとし、私たちは、社会問題である自然に触れる機会がない子どもたちを対象とし、観光地を通じてこの「三方よし」を推 進することで、地域貢献につながると考えました。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
		水の始まりからスタートすることで、水の役割、ありがたみを知り、より水の都広島を感じることが出来ます。	
【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
【特記事項】			
【催行実績】			

【 行 程 表 】

<p>1日目</p>	<p>10時に広島駅に到着し、レンタカーを借りる。そして、車で約1時間の温井ダムへ向かう。到着後、温井ダム周辺に位置する「きっちんたまがわ」で昼食をとる。 昼食後、14時からの放流を見学し、その後資料館を見学。 見学後、雉野原キャンプ場に移動し、川遊び、アスレチックを体験。 17時頃湖畔の森ペンションに向かい、夕食はダムカレーを作り、この日は終了。</p>
<p>2日目</p>	<p>10時に温井ダムを出発し、広島駅に向かう。レンタカーを返却後、JR山陽本線で広島駅から宮内串戸まで行く。宮内串戸から徒歩5分のところにある広島電鉄宮島線宮内駅に乗り換え、JA広島病院前で下車。 駅から徒歩5分のところにある「如水産」で昼食をとる。 14時半頃JA広島病院前を出発。広島電鉄宮島線で広島宮島口まで向かう。徒歩5分のところにある宮島口まで移動し、そこから船で宮島へ向かう。 宮島到着後、宮島水族館、厳島神社、表参道商店街を散策する。散策後、広島駅に向かい、帰宅。</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来など） 】

【 ポイント1 】	【 ポイント2 】	【 ポイント3 】
 <p>(「月刊ダム日本」2001年10月号表紙より)</p>	 <p>(ひろしま観光ナビより)</p>	 <p>(ひろしま観光ナビより)</p>
<p>太田川の支流である滝山川の中流部に、最新最高水準の技術を駆使して建設されたアーチ式ダム。ダムの高さは156mでアーチ式では日本で黒部ダムに次いで2番目の大きさです。見学トンネルの先にはダム下流広場があり、中にはダムについての資料が掲示されたダム資料館の見学ができます。また今回のツアーの想定時期である5月中旬から6月中旬には定期的に放水が行われており、その大迫力な放水は人気のイベントの一つとなっています。</p> <p>この温井ダムを訪れることで、私たちが普段住んでいる町に水がたどり着く仕組み、ダムの存在の大切さ、水のありがたみを家族で学べると考えました。</p>	<p>温井ダムの近くにあるきっちんたまがわ。地元こだわり、できる限りの地産地消をめざし野菜をたくさん使った料理を提供しています。むかご、筍、栗など旬の素材の炊き込みごはんや地元の梅、柚子で作ったシロップ、ジャムをもとにしたアイスクリームなど手作りで提供している為、小さい子供連れの家族も安心して昼食を楽しむことができます。ここでは水源地温井のおいしい水と空気を感じながら、春・夏・秋はテラス席で昼食をとることができます。</p>	<p>温井ダムの周辺環境整備事業の一環として、ダムの上流約5キロメートルの川沿いに建設されたキャンプ場。キャンプサイトは芝生で、バーベキュー区画としてテーブルやベンチもある。よこには透明度の高いきれいな川が流れており、川遊びに最適です。川魚もたくさんおおいいため、自然の生き物を直接みて、触れることもができこのツアーの子供の自然体験につながる可以考虑としました。また、管理棟のよこには池があり、そこでは事前に予約すればアマゴのつかみ取りや流しそうめんもでき、オプションとして自由にツアーに取り組むことができます。</p>

【ポイント4】



(手紙家くまブログより)

瀬戸内海から直接届く海の幸が食べられる如水産。魚市場、地元の漁師から広島の新鮮魚が直接届く活魚市場があります。活魚市場で購入した新鮮な魚が食べられる刺身食堂があり、ここで昼食をとります。海鮮丼定食、にぎり寿司定食、お子様プレートリーズナブルな価格で食べることができます。また、お刺身が苦手な方には新鮮な魚を煮魚、焼き魚など刺身以外の自分好みの調理方法で食べることができます。

【ポイント5】



(ひろしま観光ナビより)

宮島水族館では、生き物とのふれあいの場や研究所があり、身近に生き物たちを感じ、学ぶことができます。また、生き物の展示のみならず、宮島の干潟や牡蠣のいかだの再現、そして館内は厳島神社をイメージするなど、宮島を体感することができます。中でも牡蠣のいかだの再現は、地元の人でもなかなか目にすることがなく、貴重な風景を見ることができます。ここでは、生き物の生態、宮島の魅力を知ることができます。

【ポイント6】



(宮島観光協会より)

水の上に浮かぶ神社として有名な厳島神社は、1400年の歴史の誇り、世界文化遺産に登録されています。そして、1日2回潮の満ち引きを繰り返すことから、満潮ではカヤックで鳥居の下をくぐり、また干潮では鳥居の元までいくことができ、2種類の景色を楽しむことができます。また、海に面していることから、海難避けや豊漁祈願が主となっています。ここでは、厳島神社を通じて歴史を学ぶことができ、また、水の都を体感することができます。